ALUMNI

香川大学卒業生

MURATA EMI

村田絵美

私は穏やかな**瀬戸内**の海に囲まれて
オリーブ農家をはじめました

小豆島オリーブ農家 AMYFARM

東京都港区出身、2023年農学部卒業。小学生の時に小豆島に引っ越して以来、小豆島の虜に。大学2年の頃、オリーブの品種や産地などによってオリーブオイルの味と香りが異なることに衝撃を受け、その経験が起業のヒントとなった。

オリーブ農園
AMYFARM

SENDA YUTO

仙田悠人

僕は**パラオ**の海で
ヨットを教えています

JPSYC®×JICA 青年海外協力隊

島根県松江市出身、2023年法学部卒業。大学時代にヨット部で活躍した経験が買われ、JICA青年海外協力隊員としてパラオに着任。初めてパラオの海を見た時は、あまりの美しさに言葉を失ったという。

※Japan and Palau Youth Sailing Club 日本パラオ青少年セーリングクラブ

パラオでの活動記録
「悠パラ日記」

WHICH SEA
どこの海で 何してる？
ARE YOU IN？

人生を変えた、ヨット部

ヨットをはじめたのは大学に入ってからですが、毎年「全日本学生選手権」に出場するくらい充実したヨット人生を送っていました。海上で過ごす時間は非日常で、すっかり魅了されてしまったんです。パラオに来ることになったのは、大学4年生の11月に、ヨット関係者から突然「パラオに行かない？」と誘われたのがきっかけ。卒業後は法曹界に進もうと大学院に進学する準備を進めていましたが、大学時代に海外に出られなかったことを後悔していたこと、心の底では卒業後もヨットに関係する仕事をしてみたいと思っていたことから、誘いに乗ることに。パラオでの任務は、子供たちへのセーリング指導とパラオの伝統的カヌーの保存活動。2032年のブリスベンオリンピックに向けて選手育成の準備を進めたり、パラオの伝統的な航行技術のワークショップを主催したりしています。

ワクワクする道を進め！

活動のなかで、自分が特に人の役に立てているなと感じるのは、ヨットに関する書類を書くときやSNSを活用して海外に向けた情報発信をするとき。大学では判例研究のゼミに所属しており、そこで身に付けた三段論法などの文章を書くテクニック、莫大な量の文献を調べる能力が大いに役立っています。

振り返ると、かつての私は、未知の世界に飛び込むことに恐怖心がありました。しかし一歩を踏み出してパラオに来たことで、自分の可能性を信じてチャレンジする力、自分がやりたいことをやりぬく力が養われたと強く感じます。学生の皆さんにはどうか、最初の一歩を踏み出すことを恐れずにいてほしいです。迷ったら、どちらが得になるかを考えるのではなく、自分がワクワクする方を選んでください。それがきっと、あなたの世界を変えるきっかけになります！

パラオ初のヨットレース『パラオカップ』の企画から運営までを担当

子供たちがめきめき成長していくのを、肌で感じられるのがやりがい

小豆島内で同じ品種を育てても、場所によって味や香りが全く違うそう

高松オルネshikoku meguruにて、村田さん自ら不定期で試飲販売を実施。お客様の笑顔が原動力に

大学での学びを総動員

大学卒業後、オリーブの栽培からオリーブオイル・新漬けへの加工、販売までを行う「AMYFARM（エイミーファーム）」を小豆島で創設。もし起業をして失敗したとしても、若いうちであればその後の人生を立て直せるだろうと思ったため、就活をして企業に就職するのではなく、起業する道を選びました。

大学時代は、香川のお菓子で香川を盛り上げる地域活性化プロジェクト「KAGAWA Maker」に参加。地元の菓子店とやりとりしながら、商品が企画されて世に出るまでの流れを学びました。現在、自分で商品を企画したり、パッケージをデザインしたりしているのは、その時の経験のおかげです。ゼミでは、オリーブの生理機能と体内吸収特性を解明しようとしている教授のもと、オリーブを科学的な側面から勉強。香川大で身に付けた知識とスキルすべてが、今の仕事に役立っています。

自分にブレーキをかけないで

高校までは、引っ込み思案だった私。しかし大学に入り、自分の目標に向かってチャレンジを続ける友人たちに刺激を受けたことで、やったことがないことでも積極的にやってみようと気持ちをチェンジ。少し勇気を出すだけで、自分の選択肢がぐっと増えるのを実感しました。学生の頃は、周囲の目が気になって一歩を踏み出せないということがあるかもしれませんが、自分の気持ちを大切にして、前に突き進んでください。失敗したとしても、将来必ず何かの役に立ちますし、自分の視野が広がります。

〈香り〉と〈あとくち〉を追求したオリーブオイルを製造している当社。昨年、自社商品『アロマティケ』が、品評会で大きな賞を2つも受賞するという嬉しいニュースがありました。今後は広報活動を強化し、オリーブオイルの嗜好品としてのおもしろさをより多くの方に伝えたいです。